岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案）

平成27年７月22日

第３回有識者会議

資料１

**岡谷市人口ビジョン**

**１　人口の現状分析**【**資料提供済み**】

　　・人口の動向

○昭和55年の62,210人をピークに減少、平成15年からは出生数が死亡数を下回り、すでに本格的な人口減少の局面(平成27年6月1日現在：50,332人)

　　・自然動態・社会動態

○自然動態：平成15年から出生数が死亡数を下回る状況。

　　出生数　過去10年の出生数は450人前後であるが、平成23年から平成25年の平均は

380人と低下傾向。

○社会動態：概ね昭和44年までは転入が超過し、その後は転出が超過する状態が継続。

　　転出　県内への転出が県外への転出よりも高い値で推移（諏訪地域への転出が45％）。特に20歳代、次いで30歳代の転出が多い。

　　転入　県内からの転入が県外からの転入よりも高い値で推移（諏訪地域からの転入が43％）。転出と同様に20歳代、次いで30歳代の転入が多い。

　　・将来推計人口

○国立社会保障・人口問題研究所の推計

2030年（平成42年）43,205人（現在より14％減）

2040年（平成52年）38,024人（現在より24％減）

　2060年（平成72年）28,669人（現在より43％減）

**２　人口の将来展望**　**【現在分析中】**

　　・将来展望に必要な調査・分析

○アンケート調査：結婚・出産・子育てに関する調査、市民意識調査、高校生進路希望調査、転入・転出者調査

　　・人口の将来展望

○地域経済が縮小スパイラルに陥ることを避け、市民生活に必要なサービスを提供できる

人口規模

　　　　　　　**2060年（平成72年）　　岡谷市の人口　○○,○○○人**

**まち・ひと・しごと創生総合戦略**



まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

**①自立性**（構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる）

**②将来性**（地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する）

**③地域性**（各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援）

**④直接性**（最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する）

**⑤結果重視**（PDCAメカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する）

政策の基本目標（４つの基本目標）

　〈基本目標①〉**地方における安定した雇用を創出する**

〈基本目標②〉**地方への新しいひとの流れをつくる**

〈基本目標③〉**若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**

〈基本目標④〉**時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、**

**地域と地域を連携する**

**長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略**



政策の基本戦略

　　　Ⅰ**みんなで支える子育て安心戦略**～自然減の抑制～

Ⅱ**未来を担う人材定着戦略**～社会増への転換～

Ⅲ**経済自立戦略**～仕事と収入の確保～

Ⅳ**確かな暮らし実現戦略**～人口減少下での地域の活力確保～

**(仮称)岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略**



政策の基本戦略（案）

　〈基本戦略１〉**たくましい産業創造戦略**

～しごとをつくり、安定した雇用を創出する～

〈基本戦略２〉**岡谷ブランド発信戦略**

～魅力を発信し、新しいひとの流れをつくる～

〈基本戦略３〉**輝く子ども育成戦略**

～結婚・妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえる～

〈基本戦略４〉**安全・安心の伸展戦略**

～活力ある安全・安心なまちをつくる～